



絆 ～小さな学校の大きな誇り～

県学習定着度調査の結果

令和5年度の県学習定着度調査が(中2・10月実施)の結果が出ました。国語、数学が対象ですが、本校の結果は下表のとおりでした。

国語、数学とも県平均を上回る結果でしたので、2年生はこの調子で頑張りましょう。調査の目的は、生徒一人一人の定着状況を把握し、その後の指導に生かすためです。課題となる項目が何かを見つけ、**課題意識をもって今後の学習に取り組んで**行かなければなりません。

教科	平均正答率	
	湯口中	岩手県
国語		57.4
数学		44.6

国語の課題は、話すこと、聞くことにおける思考・判断・表現の項目。数学ではデータ活用の項目です。特に数学は積み重ねの教科ですから、習ったときの教科書に戻ってしっかり復習する必要があります。

学習習慣をどのように形成するか・・・

6日(月)、花巻市教育委員会の伊藤信彦先生をお迎えし、「**中学校期の生活・学習習慣の形成について**」という題目で1年生に対して講話をいただきました。全国や県の学力調査などから見える花巻市全体の学力の傾向として、全国や県の平均を下回り、その差が拡大しているという指摘がありました。学力が常に全国上位の秋田県、福井県とは**家庭学習時間が大きく異なります。上記2県は2時間以上が当たり前**のようです。

これから取り組むこととして大事なことは、次の2つ！**①だけでもかなりの効果**があります！

- ① **復習** 授業でやった内容を自分の力で解けるかどうか。確実に解けるようする。

(勉強した、という証拠だけの答えを写すノートではいけない)

- ② **予習** 明日の授業の内容にあたる教科書の内容を、少しでいいので見ておく。

(そうすることで、授業が復習みたいになってくる)

一人一人が自分のスタイルを築くには時間もかかりますが、これを機に取り組んでみて欲しいと思います。

小学校からの寄贈！

先月14日(土)に湯口小学校創立150周年の記念式典が開かれました。150周年を祝い、小学校の**林博文校長先生から「読書おもいで帳」**に記録するための機械、「**記帳システム**」が中学校に寄贈されました。林校長先生ありがとうございました。

このシステムは、小学校・中学校の9年間の読書記録を、銀行で管理する貯金通帳のような仕組みで記録していくものです。システムはまだ稼働していませんが、準備が整い次第図書館での利用が始まります。自分の読書の貯金？をどんどん記録していきましょう！